

<2016年5月末までの出席回数状況>

1 全体

5月、平成28年度の全日本卓球選手権地区予選はじめ公式大会がいよいよスタートした。5月3日全日本ホープス地区予選及び置賜地区ニッタク杯が開催された。ホープスの男女団体、個人戦でもホープスの男女、カブの男子の5種目で優勝した。カブ女子には2名参加し、1名が3位入賞した。

ニッタク杯では、小学生が参加できず中学生以上の参加。一般女子ダブルスで小倉七海・青木実々組が優勝、ジュニア女子シングルス、中学男子及び女子シングルスでも優勝した。

この日は、9種目で優勝することができた。

また、5月14日～15日高校の地区大会も開催された。私の道場の会員では米沢中央の遠藤隼人・新藤博貴組が優勝した。しかし、6月4日の高校の県大会では3回戦で鶴岡東のペアに完敗だった。シングルスでは遠藤君が地区でベスト16、県大会では初戦敗退、新藤君は地区3位で県大会では遠藤君と同様初戦敗退だった。

丸子なごみさんはダブルスで2回戦突破し、3回戦まで進むことができた。大河原有紗さんはシングルス及びダブルスも3回戦まで進み東北大会出場まであと一歩だった。

5月22日は全日本ホープス・カブ・バンビの県予選会が開催された。菅沼翔太君がカブ男子で優勝、3年連続優勝を成し遂げた。姉の梨香ちゃんは2位入賞した。佐原羽春君がベスト8まで入る活躍だった。青木ももちゃんはベスト16だった。

5月27日から3日間、東京で開催された東アジアホープス全国予選会に参加してきた。菅沼梨香ちゃん、翔太君ともにまだまだ力及ばず1勝もできなかった。7月神戸で開催されるホープス・カブ全国大会で力を発揮してもらいたいと思っている。

5月は、4月末からの連休期間の強化練習、続いて公式大会のスタート、ホープス個人戦の県大会、全国規模の東アジア予選会等続き、高校生は地区大会がスタートし、6月3日～5日県大会も終わった。中学生は6月18日から地区大会が始まる。全国大会までは2か月間なので準備をしっかりとって地区、県、東北を突破できるよう頑張らせたい。

2 小学生

連休期間も終わり、5月22日のホープス・カブの県大会には11名が参加した。参加の結果は上記のとおりだが、これまで週1回だけの練習しかしなかった佐藤紬ちゃんが月14回、横山祈ちゃんが18回、また週2～3回だった丸子健人君が29回、前田誠希君が31回、佐原羽春君が36回とこれまでになく頑張った。

3人(2人は大会には参加していない)はまだ月5回以下であるが、徐々に意欲が出てくるようになればと願う。

6月は11日、団体戦の県大会があるのでこれに向けて練習量を増やしみんなで頑張ってもらいたい。またダブルスもこの機会にしっかり指導したいと思う。

3 中学生

5月中旬から山形の2名も加入し、全部で12名になった。米沢の高橋君は週1回来るかどうかが極端に少ないが、小国の2人は週2～3回来るようになった。小倉七海さんに続いて青木実々ちゃん、佐藤翔太君は練習の取り組みも意欲的で練習の成果も出てきており、ニッタク杯では3人ともシングルス優勝した。またこの3人に続いて長沼暖香ちゃん、土田嘉哉斗君の出席回数も大幅に伸び、5月3日のニッタク杯で2人とも第1シードを破り、3位、5位に入賞した。

4 高校生

会員の5名が3年生。遠藤隼人君、新藤博貴君はダブルス地区優勝、しかし県大会では鶴岡東には追い付くことができなかった。特に遠藤君は平日夜の11時過ぎまで練習して頑張っただけに十分な成果に結びつかなかったことが悔やまれる。日頃の練習から、卓球が本当に好きで好きでいつも研究したり考えたりするくらいであればまだまだ上位に進むことができたと思う。

また、大河原有紗さんはわずか1か月半だけだったが、週3回、山形からここに9時ごろついて夜11時までよく頑張った。大分柔らかくボールを打つことができるようになったが、戦術面でもう少し時間があつたらというところだった。

高校生は、部活もあり大変な中で道場に來られるので、それだけに少ない時間でもっと県大会で上位に食い込める戦術面の強化も図っていかなければと思う。

5 ラージボール

昨年の4月から道場の会員になって1年数か月しか経過していなかった川井良一さんが5月29日急逝し、信じられず残念でたまらない。せっかくこれから好きな卓球を大いに楽しめるという時だっただけに大変悔やまれる。

健康づくりのためなので、無理のないように気を付けながら環境づくりをしていきたい。